

VI 希少種の保全

<主要施策の取組状況>

1 希少動植物の保全方針・対策と調査モニタリングの検討

- ・ツキノワグマの学習放獣及びGPS装着放獣個体の行動追跡調査を行い、ツキノワグマの保護管理について検討が進んだ。（Vシカ等の野生動物保護管理）
- ・オオタカ、ガン・カモの生息状況調査を実施した。
- ・酒匂川水系の丹沢在来ヤマメが生息すると考えられる支流において、NPO とともに産卵場を造成し、産卵が確認された。（IV溪流生態系の再生再掲）

2 希少動植物の保護・回復事業の実施

- ・稜線部の既設の植生保護柵の巡回点検及び補修を実施し、希少種の保護を図った。（Iブナ林の再生再掲）
- ・ヤシャイノデ（IB類）について、孢子から培養した苗の育成を行った。

○希少動植物種の保全対策実施状況（平成26年度）

希少動植物の保全方針・対策と調査モニタリングの検討	希少動植物の保護・回復事業の実施
<ul style="list-style-type: none"> ・ツキノワグマの学習放獣及びGPS装着放獣個体の行動追跡調査を行い、ツキノワグマの保護管理について検討を進めた。 ・丹沢在来ヤマメ生息地であると考えられる支流において、産卵場の造成を行い、産卵が確認された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・稜線部において植生保護柵の設置、巡回・点検及び補修を行った。（実績は特定課題Iに含む）。 ・ヤシャイノデについて、孢子から培養した苗の育成を行った。

DNA分析等によって丹沢在来と考えられる酒匂川水系のヤマメ（左）



ヤシャイノデの苗の育成状況

